



## 22日(月)はさやま楽友会新年懇親会

今年は会員全員に呼びかけた「さやま楽友会新年懇親会」。参加者は理事12人、クラブ代表者10人(内理事兼任3人)、会員19人の計38人になりました。下記の日時に賑やかに楽しく1年の活動の始まりを祝います。これからでも参加可能です。この News配信メールにお名前と連絡用の電話番号を書いて返信してください。

### 記

**日時：1月22日(月) 12時～14時(受付は11時30分より)**

**会場：入曽地域交流センター 1階大ホール(玄関を入れて左側)**

**会費：1000円(アルコール+ソフトドリンク飲み放題付き)**



## 今年も講演会と鑑賞会 やります

毎年行っている「狂言鑑賞会」、今年は3月10日(日) 13時から狭山市市民会館で行われます。狭山市周辺を舞台にした珍しい狂言「入間川」は、「入間川の逆さ言葉」を題材にした曲目です。回数を重ねて観るほどに、理解が深まります。本News51号2面の鈴木強さん他、狂言入間川を観る会の皆さんの努力により、東京まで行かずとも近くの市民会館で、普段着で、お手頃価格で鑑賞できます。鑑賞券(前売り S席3,500円、A席2,000円)は、市民会館窓口または電話、FAXで。

また、山本会の若手狂言師、山本泰太郎、則孝、凜太郎の皆様による、事前学習会「狂言講演会(狂言ワークショップ)」も開催されます。こちらは2月8日(木) 14時30分から、狭山市市民交流センター1階のコミュニティーホールで行われます。直接狂言師の方のお話を聞ける貴重な機会です。ホールなので市民会館より間近に演技を見ることができ、素の表情が見られるのも魅力です。講演会を聞いておくと、鑑賞会がより楽しめます。こちらも是非ご参加ください。(詳しくは同時配信チラシをご覧ください)

# 活躍しています！同窓会員

## 鈴木強さん

「狂言入間川を観る会」の代表、鈴木強さん。毎年行われる狂言鑑賞会ですが、市民の手によって28回も続くのは全国的にも極めてまれだそうです。皆さんの中にも何回も見た方がいらっしゃるのではないかと思います。1度より2度、2度より3度……と理解が深まるそうです。今年も是非ご覧ください。



授業のお願いにご自宅訪問

## いつの日か狂言「入間川を」中学生が…

私が狂言とかかわるようになったのは、文科省の「道徳教育特別授業」推進事業の一環で山本東次郎先生にクラスごとに授業をして頂いた時からです。2006年、教職退職と同時に「狂言入間川を観る会」の存在を知り所属しました。2008年からは代表を務めております。令和5年12月現在、会員数は12人ですが、高齢化で活動に困難をきたし始めてきたのが悩みの種です。



入間中学校での3日間の授業

狂言入間川を観る会では定例の「狂言鑑賞会」や事前学習会（狂言講演会）の企画・広報・当日運営等の他に、狭山市市民芸術祭パネル展示、東次郎狂言講演会（狭山市One coin講座）等も行っています。また、昨年11月には、狭山市博物館「さやはくフォーラム」の伝統芸能講座「狂言のファンになろうー入間川と狂言入間川」の講演も行いました。その他、学校教育関係では、小学校狂言学習会や「親子で学ぶ狂言」教室等も開催しています。令和5年度は狭山台小学校で6年生を対象に狂言教室を行いました。「柿山伏」を鑑賞しましたが、「柿山伏」は国語の教科書に登場しています。なお、本年度の狂言鑑賞会は第28回目となりました。



小学校での狂言「柿山伏」鑑賞教室



鑑賞後のワークショップ



狂言講演会の様子



私の一番好きな曲目は「月見座頭」です。月の明るい夜、下京に住む座頭（盲人）が月見ならぬ虫の音を聴きに野辺に出ます。そこで上京から月見に来た教養ある男と意気投合、酒を酌み交わして心安らぐ楽しい一時を過ごします。男は別れ際、意地悪心を起こし、別人を装い盲人にぶつかり、喧嘩を吹っ掛け、いたぶります。人間の持つやさしさと、併せ持つ醜さをふと見せるのです。盲人は同一人物とは気づかず多様な人間を想いながら帰路に就くという物語です。海外公演では現地の人々を感動させたそうです。狂言初心者の私はこの曲目で狂言に対するイメージを一変させられました。

「乱れて盛んなるより 固く守りて滅びよ」を家訓として受け継ぐ山本東次郎さん。各地での狂言鑑賞会や海外公演は勿論、全国の小・中学校・高校での狂言教室（鑑賞会・ワークショップ）、高等学校・大学での講師を一門で地道に続けています。著書も多く日本芸術院会員・重要無形文化財各個指定（人間国宝）・文化功労者としてまさに能楽狂言方として最高位の方だと思います。

私は、狭山市が「狂言の街」として全国的に名が知られることを望んでいます。いつの日か、小鹿野の「子ども歌舞伎」のように、狂言「入間川」が中学生の手で演じられる日を夢見ています。現在さやま楽友会には後援をいただくなど多大な支援を得ていますが、更に鑑賞会の企画運営などに携わっていただける、実行委員会入会希望者（4人以上）を募りたいと思っています。事情が許せば、本会も楽友会の一組織になることも可能ではないかとも思っています。